

市政に対する「一般質問」

六月議会では、十一日から十五日までの五日間で行われ、二十七人の議員が質問をしました。原稿は質問をした議員が要旨をまとめ、写真については登壇して質問を行っているところとあります。



合併効果と今後の課題

公明党津山市議団 原 行則



質問→合併してどのような効果がでているのか。
答弁→まず歳入面で、地方交付税の上乗せ措置や合併補助金などで約三十億円

の増収、歳出削減効果では旧町村の三役、議会議員の人件費で年間約三億二千万円、一般職員も削減されているのでその人件費も削減されている。
答弁→住民票等の証明書が本庁、支所どこでも取れる。久米、加茂、勝北地域に「ごんごバス」が運行され周辺住民に親しまれている。
質問→災害時、支所の危機管理体制は。
答弁→災害が心配される際、本庁から支所地域に詳しい情報連絡員を充てる。
質問→国は大規模農家支援に力を入れているが零細農家への対応は。
答弁→担い手の育成と共に集落営農の設立が必要だ。

「子育て・交通弱者・障害者支援・行財政改革」について

津山誠心会議 津本 辰己



質問→放課後児童クラブの運営と指導員の待遇改善について。
答弁→保護者負担の見直しに向けて努力し指導員の安定雇用に向け取り組む。

質問→田邑等の公共交通機関の手薄な地域の整備対応について。
答弁→近く、津山市地域公共交通会議を立ち上げ、協議・検討する。
質問→障害者の社会参加・就労支援策は。
答弁→社会参加への重要施設である、グループホーム施設改修補助などの支援に努める。
質問→行財政改革の対応は。
答弁→市税等の収納率アップに向けて努力する。業務の民間委託の推進等による人員削減を図る。土地開発公社所有の「塩づけ土地」については、事業目的の再検討や売却処分も含めて、現行、精力的に検討を進めている。

一宮保育所の移転新築、観光部門の強化

津山誠心会議 中島 完一



質問→今後の幼稚園、保育園の整備計画は。一宮保育所は子育て支援センター機能を備えているが、手狭で老朽化が進んでいる。移転新築すべきでは。
答弁→一宮保育所は施設整備、運営形態

とも総合計画の中で、できる限り早急に考えるよう指示する。
質問→高齢者の生きがい支援と子どもたちとのふれあいの場として、学校の余裕教室を開放できないか。
答弁→小学校での余裕教室は非常に少ないが、地域とのつながりを考える中で学校開放に努めている。
質問→観光産業を盛り上げるため「観光客誘致室(課)」を設置してはどうか。
答弁→津山の魅力を情報発信し、「新商品」を積極的に売り込んでいく必要がある。自立できる組織機構に見直しを行う中で観光部門の強化を考えていきたい。